

経営比較分析表（平成28年度決算）

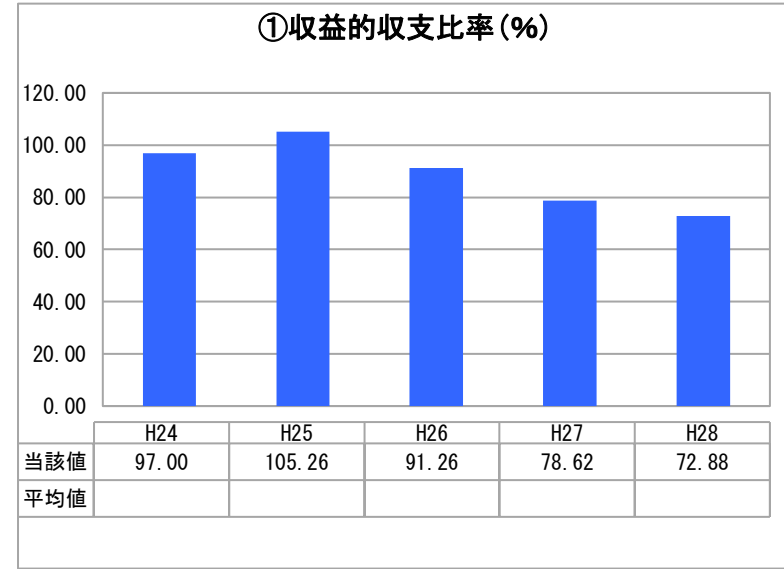
北海道 幌加内町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	61.90	87.28	3,530

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,576	767.04	2.05
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
957	0.73	1,310.96

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



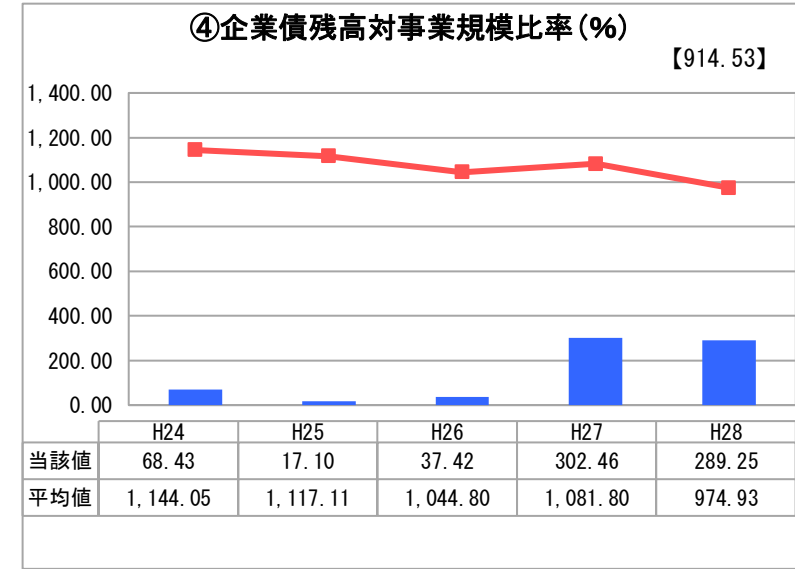
「単年度の収支」



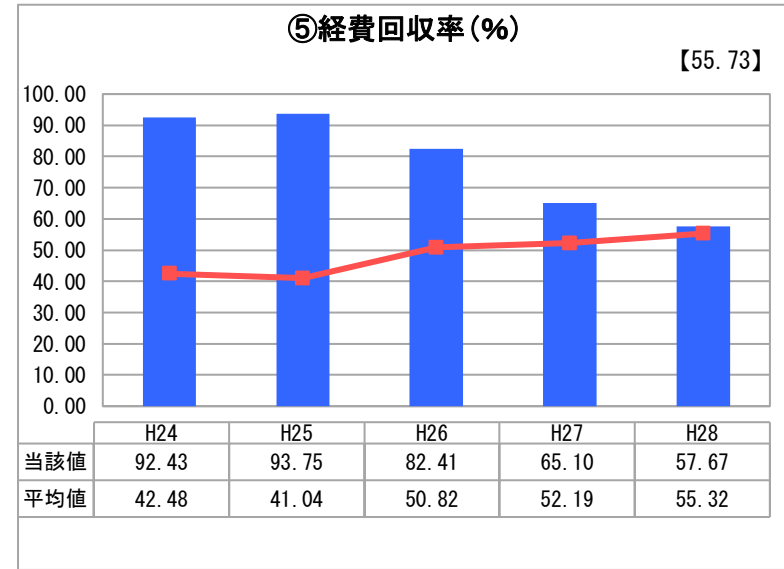
「累積欠損」



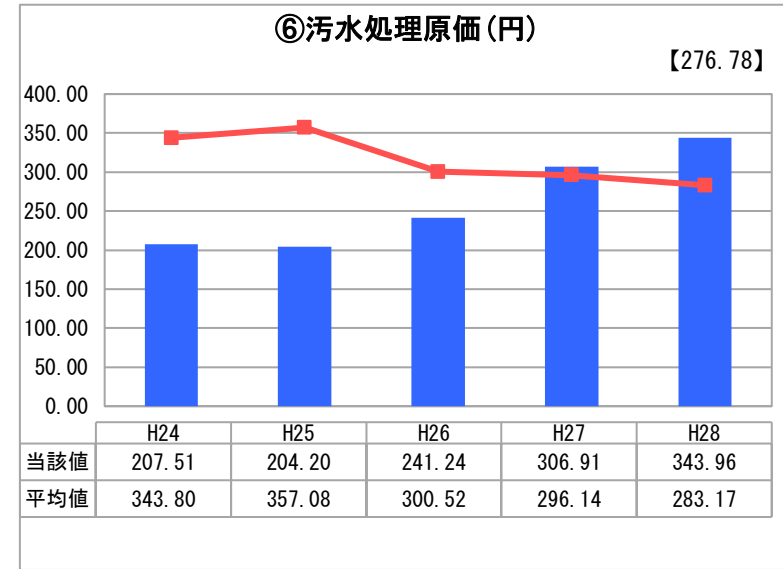
「支払能力」



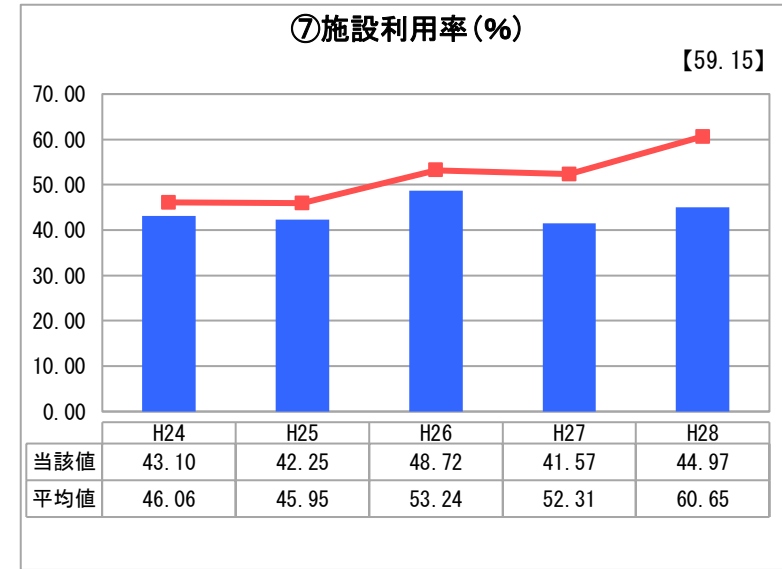
「債務残高」



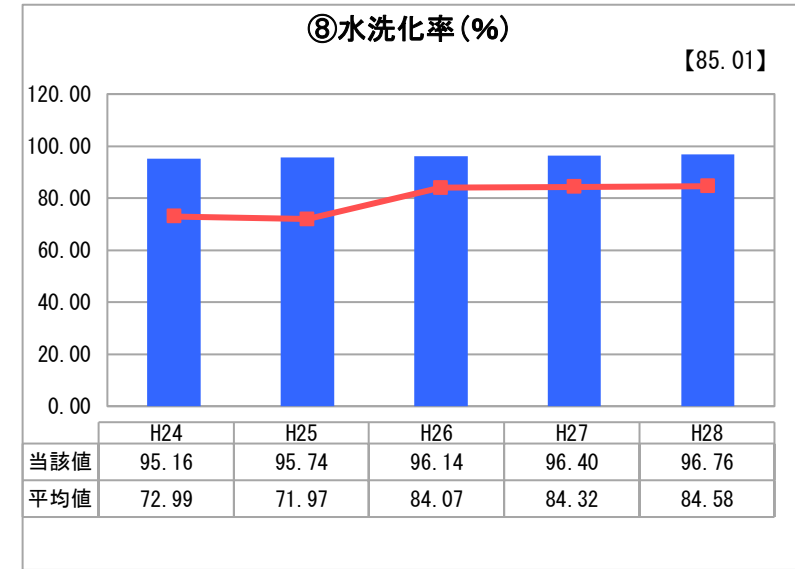
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

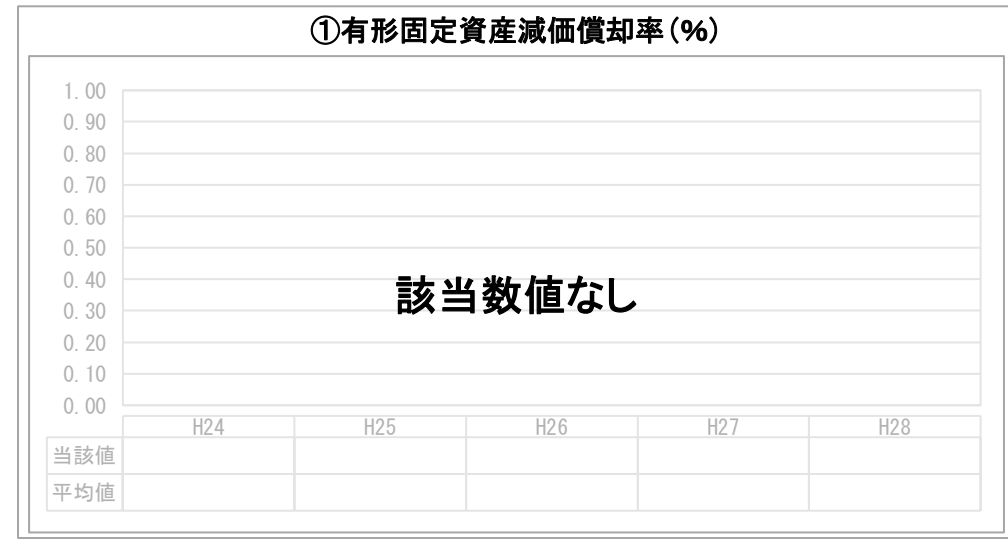


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

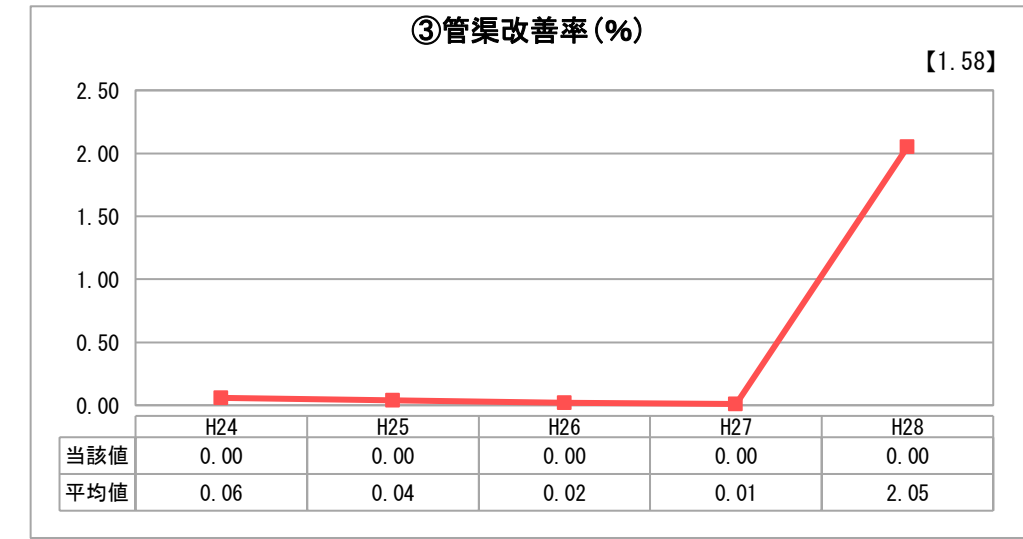
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

類似団体と比較すると経費回収率が平均値より僅かに上回っているが、収益的収支比率・経費回収率共にH27年度から減少している。平成11年度に供用開始しており、今後機能強化事業も予定しており多額の改修費用が発生する為、更に高い水準で運営をしていく必要がある。水洗化率については供用開始直後から右肩上がり高い水準にありますが、更なる加入促進に努める。

2. 老朽化の状況について

平成11年度の供用開始の為、管渠については法定耐用年数を超えるものは無いが、処理場の計装・機械設備などについては、今後予定している機能診断・最適整備構想を基に機能強化事業を実施予定。

全体総括

当町は平成18～20年度の3カ年で料金改定を行い総収益の増収を行ってきたが、更に今後は人口減少に伴い料金収入が減少していくことや、今後予定している機能強化事業を実施する為、維持管理等のあり方などを見直し経費削減に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。